

思いを繋いで  
第23回

出かけよう、ふるさととのやまへ。  
あなたの身近な里山へ。

# ひろしま「山の日」県民の集いの記録

2025年6月1日(日) 開催

(福山市会場 6/15 開催、三次市会場 9/28 開催、安芸太田町会場 10/12 開催)

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会/中国新聞社



## はじめに

広島は里山の邦と言ってもいいでしょう。 広島の里山は、里、川、まち、そして海ともつながり、多くの恵みをもたらし、命を育んでいます。

人と里山、人と山、里とまち、企業と地域、広島県内11の市町13会場を結んで、第23回ひろしま「山の日」県民の集いを開催いたしました。

これは、その記録です。

### ●第23回ひろしま「山の日」県民の集い 「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ7割は山です。全国に誇る里山があります。山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。

山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。

広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ、魚や貝を育んでいます。

私たちは、6月の第一日曜日をひろしま「山の日」とし

ひろしま「山の日」県民の集いを県内各地で開催し

山の大切さを訴えています。

ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を拡げ、

山がよくなる運動にしていくことを宣言します。

2025年6月1日

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会

会長 前垣壽男

## 目次

1	事業のアウトライン	3
2	各会場の記録	
①	東広島市会場:東広島市憩いの森公園	4
②	廿日市市会場:県立もみのき森林公園	7
③	広島市会場:ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)	9
④	三原市会場:高坂自然休養村管理センター	10
⑤	三原市会場:につせきの森	12
⑥	福山市会場:ふくやまふれ愛ランド(6/15 開催)	13
⑦	三次市会場:ハイヅカ湖畔の森(9/28 開催)	14
⑧	呉市会場:野呂山(野呂高原ロッジ周辺)	15
⑨	安芸太田町会場:深入山グリーンシャワー(10/12 開催)	17
⑩	大竹市会場:マロンの里交流館	19
⑪	大竹市会場:三倉岳県立自然公園	24
⑫	世羅町会場:せらワイナリー・せら県民公園	25
⑬	坂町会場:ベイサイドビーチ坂	28
3	実行委員	29
4	ひろしま「山の日」県民の集いの歩み	31

# 1. 事業のアウトライン

1 目 的	森林ボランティアや民間が中心となり展開してきた、ひろしま「山の日」県民の集いも 22 回目となる。目標の一つとしてきた、「山の日」が平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日になり実現した。SDG's に掲げられている 17 の目標の中で 14「海の豊かさを守ろう」、15「陸の豊かさを守ろう」の 2 つの目標については、私たちの活動そのものです。里山には、SDG's の身近な教材や資源が豊富であり、活動を通じて参加者一人一人にとって SDG's がより身近なものになる森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的にする
2 日 時	2025 年 6 月 1 日(日) 集いの行事 (福山市会場：6/15、三次市会場：9/28、安芸太田町会場：10/12)
3 場 所	広島県内 11 市町 13 会場 東広島市会場(東広島市憩いの森公園)、廿日市市会場(県立もみのき森林公園)、広島市会場(ひろしま遊学の森:広島県緑化センター)、三原市(高坂自然休養村管理センター・につせきの森)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)、三次市会場(ハイヅカ湖畔の森)、呉市会場(野呂山)、安芸太田町会場(深入山グリーンシャワー)、大竹市会場(マロンの里交流館・三倉岳県立自然公園)、世羅町(せらワイナリー せら県立公園)、坂町(ベイサイトビーチ坂)
4 総参加者	3,222 人 (山の手入れ等参加者 521 人)
5 主 催	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社
6 特別協力	ひろしまの森林づくりフォーラム
7 後 援	林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、東広島市、広島市、廿日市市、呉市、三原市、福山市、三次市、大竹市、安芸太田町、世羅町、坂町、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟、(公社)日本山岳会広島支部、(一財)全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
8 協 賛	西条・山と水の環境機構、(株)ウッドワン、中国木材(株)、マツダ(株)、大和重工(株)、広島県森林組合連合会、光和物産(株)、(株)タカキベーカリー、クニヒロ(株)、山陽工業(株)、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、福山商工会議所、尾道商工会議所、広島市漁業協同組合、(株)広島バスセンター、みずえ緑地(株)、有斐園(株)、広島県環境保健協会
9 助 成	ひろしまの森づくり事業(交付金事業) 「緑の募金」助成事業

# ①東広島市会場 東広島市憩いの森公園

全体

■参加人数：180人

＜プログラム状況＞

## 山に学ぶ活動「山の日宣言と啓発活動」

本年度も、「山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ」をテーマに、龍王山を舞台とした自然とのふれあいや環境保全の意識を高める活動を展開しました。

開会式では、東広島みどりの少年団のキャプテン2名による「山の日宣言」が行われ、参加者全体で自然への感謝と保全の意思を共有しました。また、西条・山と水の環境機構の活動紹介を通じて、地域循環型の水源保全の取り組み（1升1円基金など）や未来への森づくりの意義について紹介されました。

ひろしま「山の日」県民の集いも、地域全体の協力により安全かつ有意義に実施することができました。山や水、そして人のつながりを深める場として、今後もこの取組を継続・発展させてまいります。

記録者：本永修一朗

(西条・山と水の環境機構事務局)



▲開会挨拶 島 靖英 実行委員長



▲来賓挨拶 小谷美紀 広島県農林水産局森林保全課長



▲来賓挨拶 尾村直樹 東広島市産業部長



▲ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会  
前垣壽男 会長 開会の挨拶



▲東広島みどりの少年団による「山の日宣言」



▲全員の安全を祈願して「どんぐりころころ」唱和！

## 山に親しむ活動 「山のグラウンドワーク」

■参加人数：80人

<プログラム状況>

山に親しむ体験として、第108回となる「山のグラウンドワーク」を実施しました。企業や団体、個人参加者が5班に分かれ、森の安全管理のもとで作業を行いました。除伐活動を通して森林整備の大切さを学ぶとともに、地域の水源環境を守る取り組みを実践しました。

主催：西条・山と水の環境機構

作業面積：約2,000㎡

作業内容：除伐

作業指導：賀茂地方森林組合

救護体制：井野口病院看護師 松本千尋氏

記録者：本永修一朗

(西条・山と水の環境機構事務局)



▲除伐作業を行う様子



▲参加者全員の集合写真

## 山を楽しむ活動 「山の日体験プログラム」

■参加人数：多数

<プログラム状況>

地元の子どもたちを中心に、山の恵みや多様な生きものとふれあう体験プログラムを実施しました。東広島みどりの少年団をはじめ、多くの来場者が各ブースを回り、自然と触れ合う貴重な機会となりました。

記録者：本永修一朗

(西条・山と水の環境機構事務局)



▲虫さんパイバイスプレーづくりの様子



▲木偏の漢字クイズの様子



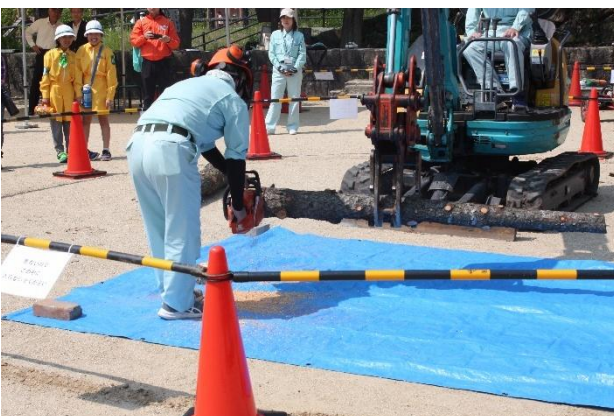
▲半尾川の生きものの説明を聞く子どもたち



▲半尾川再生に向けての展パネル展示



▲薪割り機の体験の様子



▲チェーンソーのデモンストレーション



▲松ぼっくり工作の様子



▲ペレットストーブの実演展示

【体験プログラム一覧】

- ・生き物展示・簡単な講義  
担当団体：ひがしひろしまモバイルミュージアム & 半尾川再生まちづくり倶楽部
- ・森のネイチャーゲーム  
担当団体：呉・東広島シェアリングネイチャーの会
- ・虫さんバイバイスプレーづくり  
担当団体：happinessmile Aroma  
with ひがしひろしま環境家族
- ・パネル展示・クイズ・松ぼっくり工作  
担当団体：国立研究開発法人森林研究整備機構 森林整備センター（広島水源林整備事務所）
- ・チップパー展示・木のチップのにおい体験  
担当団体：賀茂地方森林組合
- ・ペレットストーブの実演展示  
担当団体：ペレットストーブ屋・ヤマノイ株式会社
- ・最新林業見学コーナー  
担当団：株式会社ジツタ中国

## ②廿日市市会場 県立もみのき森林公園

### 全体

■参加人数：500人

#### <プログラム状況>

晴天の下、「第23回ひろしま「山の日」県民の集いinはつかいち」が参加者800名で開催しました。“安全な森をつくろう！”の合言葉で展開されたこの日のプログラムは、「森林整備」「ツリークライミング体験」「ポニーと遊ぼう」「薪割り体験等」「魚のつかみどり」「パラコードコーナー」などを実施しました。

“安全な森を作ろう！”を合言葉の森の手入れは、大径木（危険木）の伐倒等をおこなうため、安全確保を確実にするため参加者を2（1班、2班）グループに分けて活動をしました。

森林整備の活動では、1班は、公園内進入路近くの大径木（大径木のミズナラ・ナラ枯れ病等）の伐倒及び集積。2班は見通しのきく森づくり作業の徐間伐及び集積することで安全な森づくりをすることができました。

また、今年度も廿日市サテライト会場として参加のあった大野自然観察の森では、「モリアオガエルと水辺の生き物観察会」では参加者が13名あり好評を得ました。

- 森林整備 参加者25人
- 丸太切りと薪割り体験 参加者 45人
- 木工整備 参加者8人
- 魚のつかみどり 参加者86人
- ツリークライミング体験会 参加者5人
- パラコードコーナー 参加者3人
- ポニーと遊ぼう 参加者68人
- モリアオガエルの生態と水辺の観察会  
参加者13人

記録者：梅田 斉（フォレストアドベンチャー）



▲安全な森をつくろう1班の様子  
さすがプロ集団、狙った位置へ伐倒  
伐倒した木は、薪に使用します。



▲安全な森をつくろう2班の様子  
見通しのきく森づくり作業  
除伐した木は、1m位の長さに玉切りして集積します。



▲丸太切の様子  
親子での参加が多く初めて使うノコで悪戦苦闘



▲薪割り体験の様子

小さな子どもたちは、保護者と一緒に杉と檜の薪割をしました。



▲ツリークライミング体験の様子

初めて装着するハーネスに感激！



▲魚のつかみどりの様子

今回のイベントの中で一番人気でつかまえる魚は、イワナです。「ヌルヌルしてすべっちゃうよ！」



▲ポニーと遊ぼうの様子



▲木エキット（巣箱）づくりの様子



▲パラシュートコードで編むボトルホルダーづくりの様子

### ③広島市会場 ひろしま遊学の森（広島県緑化センター）

全体

■参加人数：86人（入園者数約 825人）

レストハウス駐車場を会場に、午前10時、山根副委員長の挨拶で開会し、可部南グリーンズみどりの少年団による「山の日宣言」の後、3班に分かれて園内の森林整備・除伐活動に取り組みました。会場では「自由工作塾」、「森のネイチャーゲーム」の2つの参加型プログラムを実施しました。

記録者：神川 勇人（広島県緑化センター）



▲可部南グリーンズみどりの少年団による「山の日宣言」

#### 森の手入れ

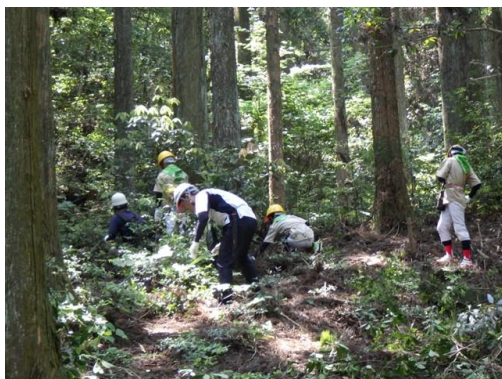
■参加人数：35人

＜プログラム状況＞

灌木類が多く茂っていた本園の東山遊歩道周辺の除伐を行い、作業後には見違えるように明るくなりました。指導団体名 ふれあい湧

- ・可部南グリーンズみどりの少年団（14人）、（保護者等7人）
- ・三井ボランティアネットワーク中国（14人）

記録者：神川 勇人（広島県緑化センター）



▲森の手入れ作業の様子

#### 自由工作塾

■参加人数：15人

＜プログラム状況＞

木片や小枝、松ぼっくり、どんぐりなど色々な自然素材を準備しました。参加者は、まず自分で自由に材料を選び、グルーガン・接着剤で取り付けたり、カラーペンで色付けしたり、自由な発想で自然素材を活用しての木クラフトに熱心に取り組んでいました。

指導団体名 ふれあい湧

記録者：神川 勇人（広島県緑化センター）



▲自由工作塾の様子

#### 森のネイチャーゲーム

■参加人数：18人

＜プログラム状況＞

木を輪切りした素材でのペンダント作りや、森の色探しゲームなど簡単な工作や自然を対象とした遊びを楽しんでいました。

指導団体名 広島市シェアリングネイチャーの会

記録者：神川 勇人（広島県緑化センター）



▲参加者の様子

## ④三原市会場 高坂自然休養村管理センター

全体

■参加人数：100人

＜プログラム状況＞

三原市会場は、3年前に「本郷中央森林公園」から、「高坂自然休養村管理センター」へ会場を移し開催しています。

高坂町では、『山の日県民の集い』とは別に、以前より、自然を満喫して頂く機会の一助として“新緑/佛通寺ノルディック・ウォーキング”を開催してきた背景がありました。そこに、『山の日県民の集い』三原市会場のお声かけにより、「本郷中央森林公園」で里山手入れの支援をされていたNPO法人団体(森のおさるさん・フォレストサポートクラブ・尾三地方森林組合)の皆さまのお力を借りて、三原市会場では、“ノルディック・ウォーキング”と“里山の手入れ体験・木工クラブ教室”の2つの企画を準備し行なうこととしました。

仏通寺会場への誘導ということで7時30分～交通誘導を行ない、8時30分～受付、9時～開会式。先ず主催者代表(西中実行委員長)の司会により『山の日県民の集い』の主旨説明(自然とのふれあい・山の大切さを県民に伝えること)を行ない、来賓では岡田三原市長に挨拶を頂きました。前回アンケートの声を活かし、今年は『山の日県民の集い』の背景・主旨を挨拶時に資料配布し、より参加者の皆さんに理解を得る取組みとしました。

“ノルディック・ウォーキング(約5kmコース)”は、講師を招聘し注意事項や準備体操を行ないスタート。佛通寺溪流に入るところからは、佛通寺住職様の協力を頂き、“史跡散策”の丁寧な説明や短時間ながら“坐禅体験”も折り込んだ企画についても興味を示され、参加者の皆さんに大変喜んで頂きました。こちらも、前回アンケートの声を活かし、ノルディックのスタートを早めるため開会式前の時間を活用し、コースの残り距離を看板掲示するなど、工夫改善を加えながら取組みました。

一方、“里山手入れ体験”にあたっては、前段階で下刈り作業も実施し、当日参加者を迎え体験を頂きました。その後引き続き、7家族参加(21名)による“木工クラブ教室”では、子供さんに喜ばれた企画で、大変良かったと思います。閉会にあたっては、ノルディック(12:20)と里山手入れ体験(~11:50)の会場帰着に差異があるため、個別の閉会と致しました。前回参加されたリピーターの方の呼びかけや、三原市教育委員会の支援も頂き、

昨年と同規模の参加を得る中、天候にも恵まれ怪我なく終了できたことを嬉しく思っております。

記録者:西中 弘(高坂自然休養村管理センター)



▲開会式の様子



▲山の手入れの様子



▲丸太切り体験の様子



▲ノルディックウォーキング出発前の様子



▲クラフト教室の参加者たち



▲ノルディックウォーキングの様子



▲佛通寺



▲クラフト教室の様子



▲佛通寺座禅体験の様子



## ⑤三原市会場 につせきの森

全体

■参加人数：180人

＜プログラム状況＞

日本赤十字社広島県支部では、未来を担う子どもたちに気候変動・環境問題への関心を高め、気候変動への適応・緩和につながる事業として新たに森林づくり事業を開始しました。

第1回目として、2025年6月1日ひろしま「山の日」のイベントとして、につせきの森創成事業を実施しました。場所は三原市大和町で行い、当日は約180名の方にご参加いただきました。

山の斜面への植樹で大変だったにもかかわらず、「将来の広島、日本が美しく残ってほしい」、「宇宙まで大きくなれ」など豊かな森として育っていくことを期待する声を多くいただきました。

今後もこの活動を継続的にを行い、将来へ豊かな森を残す足がかりとなるよう取り組んでいきたいと思えます。

記録者：三ヶ尻 恵美(日本赤十字社 広島県支部)



▲につせきの森創成事業の会場



▲植樹作業をしている子どもたち



▲植樹の指導をしている様子



▲につせきの森 創成事業全体の様子

## ⑥福山市会場 ふくやまふれ愛ランド(福山市自然研究センター)

全体

■参加人数：10人

＜プログラム状況＞

第23回ひろしま「山の日」県民の集いを、6月15日(日)に福山市赤坂町にある【ふくやまふれ愛ランド】にて今年も開催致しました。

開会式を午前10時から行い、開会の挨拶に続いて「開会宣言」と「山の日宣言」を元気よく行いました。

開会式終了後、山のグラウンドワーク(里山の手入れ)を行いましたが、参加人数が昨年に比べて少なく、多少時間が掛かるも作業分担をしながら無事に終わることができました。

今年の植樹は会場をお借りした【ふくやまふれ愛ランド】からの提案で、少し離れた場所まで移動し、新たに開設したドッグランエリア内に、木陰で休める場所を設けたいとのことで、比較的生育の早いと言われる「シマトネリコ」という木を2本植え、その他に体験農園のエリアに、生育すると赤い実がなる「ジュンベリー」という木を3本植えました。

「シマトネリコ」は成長すると高さが10mにまで達するそうで、耐暑性にも強く、連日の暑さにも耐えることができる品種なため人気があるようです。

「ジュンベリー」の赤い実は食べることができるそうで、児童に赤い実の摘み取り体験を行い、摘み取った赤い実でジャム作りをしたいとの要望でした。

【ふくやまふれ愛ランド】では夏休みの思い出づくりと仲間づくりを目的とした「わくわく体験村」というイベントを計画しているようで、今年のテーマを「食育」と定め、そのテーマに少しでもお役立て出来ればと思います。

記録者：繁田健司(光和物産株式会社)



▲植樹した「シマトネリコ」



▲体験農園のエリアに「ジュンベリー」の植樹

## ⑦三次市会場 ハイヅカ湖畔の森

全体

■参加人数：159人

＜プログラム状況＞

三次市では、三良坂町の「ハイヅカ湖畔の森」を会場に、「山の日」の行事を行いました。

今年は、70名の参加者と26名のスタッフが参加しました。午前9時からの開会行事では、開会挨拶の後、三次市立みらさか小学校の児童による「山の日宣言」が行われ、全員で「森の手入れ」を行いました。

その後、ホウノキのストラップと、ヒノキのカスタネットづくりを体験する「木工クラフト」や「薪割機・無煙炭化器」の実演を行いました。薪割機での薪づくりでは、小さな子どもさんや、保護者にも作業を体験していただきました。

「ハイヅカ湖畔の森」会場は、キャンプ施設が整備されており、地域住民に加え、キャンプ場利用者にも参加いただけた、有意義な「山の日」になりました。

記録者：新見文章(三次市 産業振興部 農政課)



▲森の手入れの説明をしている様子



▲みんなで森の手入れの様子



▲木工クラフト(ホウノキのストラップづくり)の様子



▲木工クラフト(ヒノキのカスタネットづくり)の様子



▲薪割機実演の様子



▲スウェーデントーチ制作及び実演の様子

## ⑧呉市会場 野呂山(野呂高原ロッジ周辺)

全体

■参加人数：114人

＜プログラム状況＞

第23回ひろしま「山の日」県民の集いを、6月1日(日)に呉市川尻町にある野呂山(野呂高原ロッジ周辺)にて今年も開催されました。当日は開会식을午前10時から行い、開会宣言、ひろしま山の日宣言、安全祈願を元気よくやった後に集合写真を撮影し、各種プログラムを実施いたしました。

各種プログラムも爽やかな天候の下、滞りなく実施され、多くの方に山に関心をもってもらう事が出来たと思います。

記録者：川本直人(中国木材株式会社)



▲安全祈願の様子

### 山のグラウンドワーク (森林整備)

■参加人数：36人

＜プログラム状況＞

野呂高原ロッジ近くの森林の整備(雑木や細い竹の除伐等)を行いました。現地到着後、作業の目的、ノコギリの使用方法、安全装備の確認など安全管理を行い、作業を開始しました。

伐採班、チップ班に役割分担して、伐採班がノコギリで伐採したものをチップ班がチップパーの設置場所まで人力で運ぶことで伐採木を細かく砕き森に還しました。この活動により、ヒノキ林は健全な状態に保たれました。

記録者：川本直人(中国木材株式会社)



▲森林整備の様子

### 森のネイチャーゲーム

■参加人数：78人

＜プログラム状況＞

ネイチャーゲームではカードに書かれている自然の宝物を探すビンゴゲーム等をして、みんな楽しんでいました。

記録者：川本直人(中国木材株式会社)



▲ネイチャーゲームの様子

## 桧の丸太切り

■参加人数：78人

＜プログラム

状況＞

桧の丸太きりでは間伐した桧の丸太を鋸で切り、鋸の使い方を学びました。

丸太を切るのに苦勞している人もいましたが、丸太を鋸で綺麗に切れたときは達成感を味わっているようでした。

また、切った桧の輪切りは焼き印を入れて山の日の記念品にしました。

記録者：川本直人(中国木材株式会社)



▲桧の丸太切りの様子



▲焼き印を入れている様子



▲参加者の集合写真

# ⑨安芸太田町会場 深入山グリーンシャワー

全体

■参加人数：265人

## ＜プログラム状況＞

安芸太田会場は、10月12日（日）に深入山で、「森カフェ in あきおおた」として開催しました。同日ウォーキング大会も行われ、町内外から約1,084名の来場者がありました。

ステージでは、筒賀小学校みどりの少年団による元気な「山の日宣言」が行われ、地域の森や山の大切さを学び、自然を守ることを宣言し、来場者の拍手を集めました。続いて、記念植樹として吉野桜の苗木が植えられ、未来へつながる森づくりへの思いが込められました。

体験コーナーでは、森林セラピー体験や森林セラピーヨガを活用した体験が行われ、参加者は、心と体を癒す時間を過ごすことが出来ました。家族連れには、カンナくずプール、木工教室、ストーンアート、射的などが人気を集め、子ども達の笑顔があふれました。また、木の香りを楽しむアロマ作りやバードコール作りなど、森の恵みを身近に感じられるワークショップも充実しました。

広島アルプホルンクラブによる森のコンサートでは、アルプホルンの澄んだ音色が草原と山々に響き、イベントの締めくくりには、安芸太田町木坂神楽団による迫力ある神楽上演が行われ、訪れた人々を魅了しました。

参加者からは「自然とふれあい、癒やされる一日だった」との声が多く聞かれ、安芸太田町ならではの「森と人がつながるひととき」となりました。

記録者：藤井将和（安芸太田町産業観光課）



▲緑の少年団(筒賀)小学校児童による「山の日」宣言



▲緑の少年団(筒賀)小学校児童による吉野桜の植樹

## 各プログラムの参加者数

森林セラピー体験	55人	カンナくずプール	65人
ヨガ体験	30人	射的	20人
木工教室	50人	ストーンアート	4人
アロマ作り	23人	まねきねこ色付け	2人
バードコール作り	8人	植樹	8人



▲開会式の様子



▲森林セラピーヨガ体験の様子



▲森林セラピー体験の様子



▲森のコンサートの様子



▲木工教室の様子



▲神楽上演の様子 木坂神楽団（演目：塵倫）



▲カンナクザプールの準備をしている様子



▲深入山

## ⑩大竹市会場 マロンの里交流館

### 全体

■参加人数：900人

#### <プログラム状況>

当日の準備は8時ごろから始め、看板の設置や駐車場入口の整理などを行いながら、体験ブース担当者や出店ブースの出店者が集まり、最終の準備および確認を行った。9時過ぎには来場者の車が徐々に到着し、開会を待ちわびる様子も見られました。

10時になると開会式が行われ、実行委員会会長から「暑さが予想されるので体調管理に気をつけて楽しんでください」との挨拶があり、開会が宣言されました。



▲小城和之実行委員長の開会挨拶

体験ブースでは、例年通り整理券を配布して人数制限を行いながら実施しており、人気があるブースは午前中で整理券の配布が終了となりました。また今年度からは、昨年度はボルダリングのみだったエリアを「キッズアドベンチャー」として拡充し、巨大シャボン玉、バルーン遊具、電動バギーなどを追加しました。これらは予約や人数制限なしで自由に楽しめるエリアとして設けられたこともあり、非常に好評で、多くの子どもたちが繰り返し遊ぶ姿が見られました。また、今年度は昨年度のチェーンソーアートの代わりにツリークライミング体験を実施し、自然の中で木に登るという貴重な体験に、多くの参加者が興味を示していました。飲食ブースでは、今年度からキッチンカーを招致し、大竹市の郷土料理「もぶりめし」などに加え、バリエーション豊かなキッチンカーのメニューが来場者の注目を集め、特に昼時には長蛇の列ができていました。

駐車場は第一、第二、臨時駐車場の3カ所を確保しており、昨年度と同様の体制で臨みました。

第一、第二駐車場は混雑したものの、大きな混乱はありませんでした。当日は天候にも恵まれ、快晴で少し暑さを感じる程度の気候でありながら、風もあり過ごしやすい1日となりました。会場内には医務室を設置し、体調不良者の発生に備えていたが、大きな体調不良等は発生せず、木のすいばりが刺さった子どもが1名医務室を訪れた程度でした。

来場者数は昨年度の約800人から今年度は約900人に増加し、イベント全体としては大きなトラブルもなく、無事に15時の閉会を迎えることができました。

記録者：半田竜雅（大竹市総務部産業振興課）

## 三倉岳登山

■参加人数：17人

#### <プログラム状況>

別会場の三倉岳駐車場に集合し、8歳～90歳の幅広い年齢の方が参加され、準備体操の後、登山を行いました。途中、登山マナーの説明やゴミ拾いを行いながら頂上で昼食をとった後、下山しました。

担当グループ：大竹山の会



## 木製マガジンラック作成体験

■参加人数：42人

＜プログラム状況＞

木製のマガジンラックを参加者に組み立ててもらふことで、木の温もりを感じてもらいました。ボランティアスタッフのサポートを受けながら、それぞれがマガジンラックを作製していました。用意をしていたマガジンラックは、早い段階で品切れとなりました。

担当グループ：(株)小城六右衛門商店



▲マガジンラックを作成する様子

## 木工クラフト作成体験

■参加人数：112人

＜プログラム状況＞

木切れ、枝、色付け道具や接着剤等を用いて自分だけの作品を製作しました。

担当グループ：西日本造園、大竹市産業振興課



▲全体の様子



▲自分だけの作品を作成している様子

## おおたけ手すき和紙体験

■参加人数：67人

＜プログラム状況＞

大竹市の伝統工芸である手すき和紙の作成を体験してもらい、大竹市の伝統工芸を知ってもらう良い機会となりました。

担当グループ：おおたけ手すき和紙保存会



▲手すき和紙体験をしている子どもたち

■参加人数：43人

＜プログラム状況＞

大竹市の伝統工芸である手すき和紙から作られた鯉のぼりに絵付けをする体験をしてもらいました。絵付け後に額縁にいれ展示用に加工し、お土産として持ち帰ってもらいました。

担当グループ：大竹手描き鯉のぼりを継承する会



▲手描き鯉のぼり作り教室受付の様子



▲手描き鯉のぼり作り教室の様子



## 手描き鯉のぼり作り教室

## ツリークライミング

■参加人数：97人

＜プログラム状況＞

専用のロープや安全帯を利用して自分の力で木に登り、木や森、自然との一体感と達成感を味わってもらいました。

担当グループ：佐伯森林組合



▲ツリークライミング体験の様子

## 木のおもちゃコーナー

■参加人数：50人

＜プログラム状況＞

室内の一角に広島県木材組合連合会からお借りした木のおもちゃを置き、木の温もりに触れてもらうコーナーを設けました。積み木、輪投げ、知育玩具等の様々なおもちゃを用意し、家族連れで楽しんでいる姿が見られました。

担当グループ：ひろしま「山の日」県民の集い  
大竹市実行委員会



▲木のおもちゃで遊ぶ子どもたち

## キッズアドベンチャー

■参加人数：452人

＜プログラム状況＞

木製の壁に設けられた突起を掴んでてっぺんまで登るボルダリング体験やバルーン遊具、電動バギーや巨大シャボン玉づくりなど自然の中で思い切り遊べるコーナーを設けました。体験イベントの待ち時間に遊べる場所として人気がありました。

担当グループ：アウトドアスポーツを楽しむ会



▲ボルダリング体験の様子



▲巨大シャボン玉づくりの様子



▲電動バギー体験の様子



▲自然の中で楽しむ子どもたち

# ①大竹市会場 三倉岳県立自然公園

全体

■参加人数：48人

＜プログラム状況＞

「先輩岳人の足跡をたどる」では、先輩たちのトレーニングコースだったJR玖波駅から三倉岳までを、10名が走破し、当時をしのびました。また、休憩所に先輩岳人で、海外登山でも勇名を馳せた寺西洋二、高見和成、名越實の写真と略歴を展示しました。「キャンプファイアー」では、5月31日の夜、キャンプサイトに38名が集まり、点火式のあと歌を歌い、またお好み焼きを食べておいに盛り上がりました。

記録者：豊田和司（広島県山岳・SC連盟）



▲お好み焼きを焼いている様子



▲キャンプファイヤーの様子



▲三倉岳登山の様子



▲集合写真

全体

■参加人数：444人

＜プログラム状況＞

第23回ひろしま「山の日」県民の集い世羅町会場をせら夢公園で開催しました。開会式にて山口勝博実行委員長による開会挨拶、金廣隆徳副町長、田原賢司副議長による来賓祝辞があり、実行委員の宮本幸三さんによる山の日宣言が行われ、行事を開始しました。当日は、親子連れを中心に444人の方々にご来場いただき、体験活動に参加しました。世羅町会場では、「山の日木工体験」「しいたけ菌打ち体験」「薪ストーブ体験」「薪づくり体験」「山遊び体験」「里山の自然を観察しよう」「山の日マルシェ」「脱温暖化プロジェクトせら」の8つのプログラムにて森林・林業体験プログラムを行いました。晴天のもと開催され、子どもから大人まで幅広い世代の方々が山の恵みに親しむ機会となりました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲山口勝博実行委員長 開会挨拶



▲金廣隆徳副町長 祝辞



▲田原賢司副議長 祝辞



▲宮本幸三実行委員 山の日宣言

## 山の日木工体験

■参加人数：34人

＜プログラム状況＞

広島県産材を使用したマガジンラックの木工体験を行いました。マガジンラックの完成後は、好きなイラストを描くなどして、オリジナルの作品を作成し、とても満足していただきました。また、木製品の良さを皆さんに知っていただく良い機会となりました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲マガジンラックづくりの様子

## しいたけ菌打ち体験

■参加人数：54人

＜プログラム状況＞

しいたけ原木を利用して、しいたけドリルによる穴あけ、菌打ち体験を行いました。参加者の中には初めて菌打ちに挑戦される方もいらっしゃいました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲しいたけドリルで穴あけの様子

## 薪ストーブ体験

■参加人数：多数

＜プログラム状況＞

薪ストーブの体験会を行いました。環境にやさしいと言われる薪ストーブを立ち寄って見られる方もいらっしゃいました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲薪ストーブ展示の様子

## 薪づくり体験

■参加人数：28人

＜プログラム状況＞

薪割り体験は手動薪割り機を使って行いました。参加者の中には、初めて薪割り機を使う方もおられ、楽しそうに薪割りを行っていました。

記録者：杉原千鈴（世羅町産業振興課）



▲薪割り機を使つての薪割り体験の様子

## 丸太切り競争

■参加人数：27人

＜プログラム状況＞

丸太切り競争では、参加者が木の種類ごとの硬さや見た目の特徴について説明を受けていました。見た目が細いのに硬くて切るのに時間がかかる木もあり、参加者たちはそんな木の特徴や種類ごとの違いを楽しんでいました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲木の特徴について説明を受けている様子

## ロープクライミング体験

■参加人数：47人

＜プログラム状況＞

ロープワークで木に登る体験を行いました。参加者は、柱を使って事前講習を受けてから、実際に木に登っていました。自力では登れないような高い木に登ることができるため、参加者は楽しんで体験を行っていました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲ロープクライミングの様子

## ネイチャーゲーム

■参加人数：14人

＜プログラム状況＞

ネイチャーゲームの講師をお呼びして、自然と触れ合えるゲームを行いました。様々なヒントをもらいながら、動物の名前を当てる「ノーズ」や、実際に公園内を歩きながら、生き物の痕跡を探すビンゴゲームなど、親子で楽しみながら自然と触れ合っていました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲ネイチャーゲームの講師から説明を受けている様子

## 里山の自然を観察しよう

■参加人数：24人

＜プログラム状況＞

せら夢公園の自然観察園で自然の生物の観察会を行いました。プログラムを第1部・第2部と分けて行い、自然観察園の各ポイントで講師の方から説明がありました。多くの参加者にせら高原の自然を親しんでいただくことができました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲自然観察園で観察している様子

## 山の日マルシェ 温暖化プロジェクトせら

■参加人数：244人

＜プログラム状況＞

様々な方が出店し、世羅の木を使った工芸品や、野菜、花、ジビエ料理などを販売しました。

また、もみ殻燻炭、竹パウダーの配布や、竹パウダーの作成の実演など、脱温暖化プロジェクトせらの取組を紹介しました。

記録者：杉原（世羅町産業振興課）



▲山の日マルシェと脱温暖化プロジェクトせら様子

## ようよう坂町ウォーキング

■参加人数：23人

＜プログラム状況＞

竹林や草花、木の実など、たくさんの自然に触れながら、水尻ベイサイド遊歩道にある展望台を目指してウォーキングを楽しみました。

参加者は、穏やかな瀬戸内海の風景に心が癒されていました。

記録者：梶谷政博（坂町総務部企画財政課）



▲受付の様子



▲ウォーキングの様子



▲瀬戸内海を一望できる展望台▼



# 3. 実行委員

## 実行委員会（全体）

### ■アドバイザー

渡邊 園子 広島大学準教授  
鶴田 昌史 (公社)広島県みどり推進機構 事務局長  
岡島 鉄也 中国新聞社 代表取締役社長

### ■会長

前垣 壽男 西条・山と水の環境機構 理事長

### ■副会長

内海 康仁 光和物産株式会社 代表取締役会長  
櫻井 充弘 ひろしま人と樹の会 事務局長  
山田 雅昭 (一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟会長  
箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会会長、  
エコパークの森づくり副実行委員長

### ■委員

赤木 茂 光和物産(株) 取締役専務執行役員  
秋山 浩三 広島県シェアリングネイチャー協会 事務局長  
斎 陽 (公社)日本山岳会広島支部 支部長  
井上 年光 阿品の森サポータークラブ 会長  
志々田 学 (公財)オイスカ広島県支部 事務局長  
下手 義樹 (株)中国新聞企画サービス 次長  
菅原 基晴 中央森林公園協会常務理事 兼事務局長  
副島 靖夫 ひろしま遊学の森(広島市森林公園) 園長  
田端 秀秋 (一財)もみのき森林公園協会 理事長  
中嶋 剛二 広島県森林インストラクター連絡協議会  
野本 利夫 NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所 理事長  
林 高正 板橋さとやま倶楽部 理事長  
細川 正紀 阿品の森サポータークラブ 事務局長  
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長

(五十音順)

### ■監事

梅田 斉 フォレストアドベンチャー 顧問

### ■事務局（委員兼任:事務局長）

山本 祐二 NPO 法人ひろしまNPO センター 常務理事

## 各会場実行委員会

### □東広島市会場実行委員会

■実行委員長 島 靖英 西条・山と水の環境機構 運営委員  
■副委員長 浅野 敏久 広島大学大学院人間社会科学科教授  
呉・東広島シェアリングネイチャーの会

### ■運営委員長

水友 裕樹 賀茂地方森林組合

### ■事務局長

本永 修一朗 西条・山と水の環境機構 事務局

### □廿日市市会場実行委員会

### ■実行委員長

大村康朗 県立もみのき森林公園 園長

### ■副委員長

梅田 斉 フォレストアドベンチャー 顧問

### ■事務局長

金升 伸矢 県立もみのき森林公園 副園長

### □広島市会場ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)会場 実行委員会

### ■実行委員長

正本 大 みずえ緑地(株) 代表取締役社長

### ■副委員長・事務局長

山根 道廣 広島県緑化センター 所長

### ■運営委員長

行森 章 広島県緑化センター

### ■運営副委員長

神川 勇人 広島県緑化センター

### ■事務局長

行森 章 広島県緑化センター

### □三原市会場実行委員会(高坂自然休暇村管理センター)

### ■実行委員長

西中 弘 NPO 法人もみじの郷 理事長

### ■副委員長

植村 正宏 三原市経済部長

### ■事務局長

西中 弘 NPO 法人もみじの郷 理事長

### □三原市会場実行委員会(につせきの森)

### ■実行委員長

坂井 浩明 日本赤十字社広島県支部 事務局長

### ■副委員長

蔵田 和樹 (一社)森林再生整備事業体シンラ 代表理事

### ■運営副委員長

柘田 岳伸 (一社)森林再生整備事業体シンラ 理事

### ■事務局長

宇都宮 良暢 日本赤十字社広島県支部 事業推進課

### □庄原市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

### □福山市会場実行委員会

### ■実行委員長

内海 康仁 光和物産(株) 代表取締役会長兼社長

### ■副委員長

赤木 茂 光和物産(株) 取締役専務執行役員

### ■事務局

繁田 健司 光和物産(株)

□三次市会場実行委員会

■実行委員長

平岡 誠 吉舎町自治振興会 会長

■事務局長

松本 隆志 三次市産業環境部農政課 課長

□呉市会場実行委員会

■実行委員長

堀川 保彦 中国木材株式会社 代表取締役 社長

■運営委員長

宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ会長

■副運営委員長

遠藤 勇人 三菱日立パワーシステムズ呉工場

エコークラブ

■事務局長

小川 俊章 中国木材株式会社 人事課 課長

□安芸太田町実行委員会

■実行委員長

井居 勇次 太田川森林組合 代表理事組合長

■副委員長

大倉 啓二 ヘルスツーリズム推進協議会専門委員

■監事

寶珠 真一 (一社)地域商社あきおた 事業本部長

■事務局長

菅田 裕二 安芸太田町産業観光課 課長

□大竹市会場実行委員会(マロンの里交流館)

■実行委員長

田室 浩一郎

■副委員長

小城 和之

■事務局長

三浦 暁雄 大竹市総務部 産業振興課 課長

□大竹市会場実行委員会(三倉岳県立自然公園)

■実行委員長

山田 雅昭 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟会長

■副委員長

豊田 和司 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟理事長

■事務局長

豊田 和司 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟理事長

□世羅町会場実行委員会

■実行委員長

山口 勝博 世羅郡森林組合 代表理事組合長

■副委員長

山本 稔 NPO 法人広島・せらマルベリークラブ

代表理事

■事務局長

住田谷 保 世羅町産業振興課 課長

□坂町会場実行委員会

■事務局

山本 保 坂町総務部企画財政課 課長

□広島市会場ひろしま遊学の森(広島市森林公園)会場

※今年度は、開催しておりません。

□大崎上島町会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□江田島市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□竹原市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□府中市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□神石高原町会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□尾道市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□安芸高田市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

※以上、2025年6月1日時点での委員及び所属等を記載しております。

たくさんの方々に協力していただき行事を行なうことができました。心より感謝申し上げます。

## 4. ひろしま「山の日」県民の集いの歩み

### 1. 「山の日」のきっかけ

森林ボランティアに関わる人たちが全国から集まり、第7回森林と市民を結ぶ全国の集い（会期：2002年2月9日～11日 開催場所：広島県東広島市とその周辺 主催：第7回森林と市民を結ぶ県民の集い実行委員会他 総参加者：2,294人）が開催されました。その初日のシンポジウムにおいて、パネリストの1人から「山の日」をつくらうとの提案がされました。

提案を受け、分科会等での議論等を経て、集いの締めくくりに、私たちからのメッセージとし「6月の第一日曜日を山の日として、その日は山に関わろう」というメッセージを発信しました。

### 2. ひろしま「山の日」県民の集いの積み重ね

山の大切さをできるだけ多くの人たちに知っていただきたい。そのきっかけづくりとしてひろしま「山の日」県民の集いを広島県内各地の会場で開催しています。第1回～4回までは、広島県内1ヶ所の会場で開催していました。第5回以降、メイン会場とサテライト会場方式として県内数ヶ所で同時開催、コロナ禍前の第18回までは、あわせて1万3千人超が参加する行事になっています。

回数	日時	場所	参加者 (人)	主催
1	2002年6月1日(土)・ 6月2日(日)	東広島市	1,500	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
2	2003年6月7日(土)・ 6月8日(日)	廿日市市	3,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
3	2004年6月5日(土)・ 6月6日(日)	広島市	2,400	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
4	2005年10月15日(土)・ 10月16日(日)	三原市	5,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、平成17年度広島県植樹祭実行委員会
5	2006年10月22日(日) ※全国育樹祭と連携	○メイン会場：庄原市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市	11,700	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社
6	2007年10月20日(土)・ 10月21日(日)	○メイン会場：福山市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市、庄原市	10,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社

7	2008年10月18日(土)・ 10月19日(日)	○メイン会場：三次市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市、三原市、 庄原市、福山市	10,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社
8	2009年6月6日(土)・ 6月7日(日)	○メイン会場：呉市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市	7,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
9	2010年6月5日(土)・ 6月6日(日)	○メイン会場：北広島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市	8,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
10	2011年6月4日(土)・ 6月5日(日) ※第10回記念行事	広島市(記念講演会) 東広島市、廿日市市、広島市 (2)、三原市、庄原市、 福山市、三次市、呉市、 北広島町	11,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
11	2012年6月2日(土)・ 6月3日(日)	○メイン会場：尾道市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町	7,000  ※朝、雨	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
12	2013年6月1日(土)・ 6月2日(日)	○メイン会場：安芸高田市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市	3,200  ※終日雨 天	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
13	2014年5月31日(土)・ 6月1日(日)	○メイン会場：安芸太田町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田	9,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

14	2015年6月6日(土)・ 6月7日(日)	○メイン会場：大竹市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市(2)、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町	10,540	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
15	2016年6月4日(土)・ 6月5日(日)	○メイン会場：世羅町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市	7,120	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
16	2017年6月3日(土)・ 6月4日(日)	○メイン会場：大崎上島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、福山市、三次市、 呉市、北広島町、尾道市、 安芸高田市、安芸太田町、 大竹市、世羅町	10,860	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
17	2018年6月3日(日)	○メイン会場：江田島市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原 市、庄原市、福山市、三次市、 呉市、北広島町、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町	11,710	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
18	2019年6月2日(日)	○メイン会場：竹原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(注)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町、江田島市 (注)2018年7月豪雨災害の為、 広島市森林公園会場は未開催	13,640	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

19	2021年8月8日(日・祝日山の日)	○メイン会場：府中市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、福山市、北広島町、竹原市	1,230	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
20	2022年6月4日(土)・6月5日(日)・6月18日(土)・6月26日(日)	○メイン会場：神石高原町 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、庄原市、福山市、三次市、北広島町、大竹市、世羅町、府中市、	2,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
21	2023年6月4日(日)	○メイン会場：安芸郡4町 (メイン会場：坂町、サブ会場：府中町、海田町、熊野町) ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市、福山市、三次市、呉市、北広島町、大竹市、世羅町、神石高原町	7,510	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
22	2024年6月2日(日) 6/16(大竹市会場) 10/13(安芸太田町会場)	東広島市(総合開会式) 廿日市市、広島市(2)、三原市、福山市、三次市、呉市、世羅町、神石高原町、坂町、大竹市、安芸太田町	4,360	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社
23	2025年6月1日(日) 6/15(福山市会場) 9/28(三次市会場) 10/12(安芸太田町会場)	東広島市(総合開会式) 廿日市市、広島市、三原市(2)、福山市、三次市、呉市、安芸太田町、大竹市(2)、世羅町、坂町	3,220	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社

※但し、参加者は10人台で計数しています。

---

第 23 回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

- 発行日 2025 年 11 月 1 日
- 発行・編集 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
- 監修 渡邊 園子（広島大学 准教授）
- 事務局 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1 丁目 6 - 1  
紙屋町ギャラリー 303 号室
- TEL:082-258-1348 FAX:082-258-1349  
e-mail:info@yamanohi.com
-



- 山の日ロゴ: 山と人との調和をモチーフにデザイン開発。  
基本カラーはエコグリーン。  
デザインは木原実行さん。



RCCラブ・グリーンプロジェクト



「緑の募金」助成事業

（この行事は、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して開催しています。）

ひろしまの森づくりキャラクター  
モーリー

